リリースノート — HELO ファームウェア v2.0.1

Firmware for AJA HELO

全般

- ・ AJA eMini-Setup アプリケーションでは、対応製品に付属された USB ケーブルを使用して設定とファームウェアのアップデートが迅速に行えます。
- ・ AJA サポートサイトで公開されている最新のファームウェアを使用することをお勧めします。
- ・ 製品情報やマニュアル、ファームウェア、eMini-Setup は下記のウェブページをご覧ください。
www.aja.com/products/helo#support

v2.0.1 での改善点

- ・ DHCP ハンドシェイクでホストネームを送信するように改善
- ・ 起動時および入力信号切替時での、アナログオーディオ出力の挙動を改善

v2.0 での新機能

- ・ ウェブ UI 画面上に、入力信号用の低フレームレートモニターを追加
- ・ エンコードしたメディアファイルをウェブ UI からダウンロードおよび削除できる機能を追加
- ・ オーディオのディレイ調整機能を追加
- ・ アナログオーディオレベルの調整機能を追加

v2.0 での改善点および機能拡張

- ・ .mp4 および .mov ファイルで、1セグメントあたりの最大収録時間を 360 分に拡大
- ・ .mp4 および .mov ファイルで、リップシンクずれを修正

- ・ .mp4 ファイルもしくは .mov ファイルの書き込み中、次のファイルへロールオーバーする際に、まれにフレーム落ちが発生する不具合を修正
- ・ 低 GOP サイズでのエンコード時の符号化品質を向上

既知の問題と機能制限

- ・ .mov および .mp4 ファイルで長時間収録する際には、高性能なメディアをご利用ください。収録に最適なメディアについては、ガイドライン "HELO Media Recommendations" がございますので参照ください。(<https://www.aja.com/products/helo#support> の "Documents" よりダウンロードいただけます)
- ・ RTSP ストリーミングが有効になっているにも関わらずクライアントに接続されていない場合には、ウェブ UI モニターはリフレッシュしない仕様になっています。
- ・ HDMI 出力はエンコーダの出力に依存するモニター/プロキシ用の出力です。中継放送には適しません。
- ・ SDI 出力は SDI 入力のループスルーです。エンコーダからの出力ではありません。
- ・ HDMI 入力を SDI からは出力できません。
- ・ インターレースのビデオ入力は、エンコード前にプログレッシブにデインターレースされます。
- ・ SDI 入力時 PsF のソースが有効な入力として表示されないことがあります。
- ・ RTMP を使用してストリーミングを行うと、フロントパネルのストリーミング LED インジケータと HELO ウェブ UI が異なるステータスを最大で 3 分間表示する問題が、まれに発生することがあります。
- ・ 電源を入れた後に HDMI ケーブルを接続した場合、HDMI 入力が認識されない場合があります。その場合は一度 HDMI ケーブルを抜いてから再度接続すると、認識されるようになります。